

令和8年7月号



春日部セントノア病院

〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野1112-1
TEL048-760-1200
FAX048-760-1201
https://www.saintnoah-kasukabe.jp



今月のゲームは、釣り大会
釣って、釣って、釣りまくれ！



もう少しですー
あの大物を狙おうよ！



気付けば皆さん無口に...
真剣そのものです！



このくらい
朝飯前だわ！
大漁！

誕生日会



大漁！



～目次～

- 病院短信
 - 日常の一コマ
 - いきいき看護・介護
 - 作業療法科だより
 - 誕生日会
 - スタッフ紹介
- 田巻 國義
松井 朋恵
小西 由美子
宮森 未理
デイルームにて
高野 悠花

7月の予定

◇誕生日会

1病棟	7月 6日 (月)
2病棟	7月 10日 (金)
3病棟	7月 7日 (火)
各病棟デイルーム 14:00～	



スタッフ紹介

医療福祉相談員
たかの ゆうか
高野 悠花

趣味：読書、映画鑑賞
おすすめ本：『赤と青のエスキース』青山美智子著



春日部セントノア病院相談室に入職して早いもので約7ヶ月が経過しました。出身地は米どころ新潟県です。その影響で新潟県のプロサッカーチーム「アルビレックス新潟」の応援をしています。昨年J2に降格してしまったので今年はJ1復帰を目標に、いつかはタイトルを獲得したいと思っています。新潟観光の際にはぜひ聖地ビッグスワンススタジアムまで足を運んでみてください！仕事ではまだまだ慣れないことも多いですが日々奮闘中です。お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

病院の芝生をとり囲むように、50数本の桜の木がありますが、開院から20年、幹も太く、たくましくなりました。桜の葉もいよいよ緑濃く、風にゆれながら、日の光をいっぱい浴びて、輝いています。

カッコーとうぐいすの音が聞こえます。夏本番前、梅雨明けま近の季節ですね。芝生を散歩する患者さん、お見舞いの家族と車椅子で談笑される患者さん、笑顔が素敵で当院を象徴する光景です。

こういう環境のもと、開院以来「拘束しないで、最後まで人間らしく」を病院の理念として実践してきましたが、穏やかな笑顔の患者の表情を見て、方針の正しかったことを実感しています。

当病棟に100才の男性患者が入院していますが、入院の頃よく戦争体験を語って来ました。終戦の時18才の頃の話です。廃墟の街を泣きながら、家族を探して歩き回ったこと、食料を求めてリヤカーでとなりの県まで出かけたことなど、先の大戦から80年たっても忘れられない大きなつらい体験だったのでしよう。そう言えば、我が身を振り返ると、終戦近くの昭和20年春、米軍の爆撃機B29からのがれるように、両親の故郷である青森県に疎開したこと、少年時代は、いつも空腹ながらも、野山を駆けめぐり、海や川で泳ぎ、自然からエネルギーをもらって育った頃のことやよみがえります。

過ぎ去ると、残るのは思い出だけですね。

さて、病院としてはこの数年来、世界中で猛威をふるった新型のウイルスに振りまわされ、少なからず影響を受けました。この一年は、ようやく感染症もおさまり、病棟全体も落ち着いたように思います。患者さんが屋外で自然に触れる機会のひとつの行事として、以前は恒例だった、バスハイクなども再開できれば…と思っています。

今後も、当院の役割をあらためて考え直し、足もとを見つめ、信じた道を探しながら、ゆっくり進んでいきたいと思っています。



作業療法科 だより

作業療法士 宮森 未理

7月に入り、暑さが本格的に厳しくなってきました。いよいよ夏本番、体調には気を付けて元気に夏を乗り切っていきたいですね。

さて、今回は歌の会を紹介していきたいと思います。この会では、患者さんの青春時代に流行った歌謡曲や、子どもの頃から馴染みの童謡、その時々の季節の歌などをアカベラやCDに合わせて歌っています。熱心に口ずさむ方もいれば、手拍子をおくる方、聴いて楽しんでいる方もいらっしゃる、参加スタイルは様々です。懐かしい歌を通じて昔の出来事やエピソードなどを思い出し、話に花が咲くこともしばしば😊また、普段は落ち着かない方も、会の間は穏やかな表情で口ずさんでいたり、歌によって良い効果もたらされていることを私自身日々実感しています。

人に元気を与えたり笑顔を引き出すことが出来る、そんな音楽のパワーを感じつつ、引き続き楽しく穏やかな時間を過ごしていただけるよう関わっていききたいと思います！



日常の一コマ

今月は3病棟の照子さん(87歳)をご紹介します。照子さんは長野県上田市出身で10人兄弟の7番目として生まれました。中学校卒業後に上京し、伯父のレストランで働き、24歳頃ご主人と出会いご結婚され、2人のお子さんに恵まれました。

40歳頃にご主人が建築業の仕事をしたため、照子さんも一緒に会社をお手伝いしていましたが、平成19年にご主人が他界してしまい、その後は長女家族と一緒に住み始めました。

照子さんの性格は、とても真面目で几帳面。そして何より社交的。趣味で絵を書いたり社交ダンスを習ったりと、とても充実した毎日を過ごしていたそうです。

そんな照子さんは令和3年頃から物忘れや被害妄想が始まり、病院受診するとアルツハイマー型認知症と診断されました。今まで出来ていた事が少しずつ出来なくなり、その3年後には在宅介護が困難となり、当院に入院するはこびとなりました。

入院当初は、「家に帰るにはどうしたらいいの?」などと落ち着かず、廊下を何往復も徘徊され、夕方になる頃には不安な表情を浮かべている姿がよく見かけられていました。しかし、少しずつ病院生活にも慣れ、この頃では新しく入院されてくる患者さんに優しく声をかけたり、時には一緒に話をされ、笑顔で患者さんに寄りそう姿をよく見かけます。

とても面倒見が良い反面、急に落ちつかず、徘徊を繰り返してしまう事も多々あります。しかし、職員の声かけに笑顔で「大丈夫よ」と返答してくれます。

でも時々…。時々あるんです。不機嫌な時が…。いつも笑顔の姿を見ているので、不機嫌でムツとしている姿を見るとびっくりしてしまうのですが…。とても人間味があって、私はとても愛くるしいなあと思ってしまうのです。(目上の方に失礼しました)

これからも素敵な笑顔が続くよう、見守り、お手伝いさせていただければと思います。

3病棟 介護福祉士 松井 朋恵



いきいき看護・介護

1病棟 介護福祉士 小西 由美子

7月は蒸し暑い季節です。熱中症に注意しましょう。

熱中症は高温多湿な環境で長時間過ごすことにより、次第に体の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体に熱がこもってしまう状態です。

熱中症はいつでもどこでも誰でも条件次第で発症する危険性があります。

熱中症対策として

《高温高湿の環境を避ける》

扇風機やエアコンで温度の調節をしましょう。目安として部屋の温度が28℃、湿度70%を超えたらエアコンをつけましょう。気温が25℃を超える場合は特に注意が必要です。手のひらを15℃程度の冷たいペットボトルや保冷剤などで冷やすと体温が下がります。

《こまめな水分補給》

1回150ml、1日1.2〜1.5ℓ必要です。血管の中が脱水になるのでカフェインや糖分の多い飲み物、お酒は控えましょう。

《しっかり栄養をとる》
食事はバランスよく食べ、特に朝ごはんをしっかりとするようにしましょう。ビタミンC、ビタミンB1、クエン酸などは意識して摂りたい栄養素です。

体調管理に気をつけながら元気に夏を過ごしましょう。

